

# 胆嚢粘液嚢腫 (gallbladder mucocele)

## どんな病気なの？

○肝臓の隣にある胆嚢という消化液をためておく袋にゼリー状の物質が溜まってしまふ病気です。

○多くは無症状ですが、進行すると突然嘔吐、元気食欲消失、発熱、腹部疼痛、黄疸などの症状が出ることがあります。

○閉塞が続いたり、胆嚢が破裂すると胆汁性腹膜炎をおこし死亡することもあります。

## どうやって診断するの？

### エコー検査

- 胆嚢内壁に付着したゼリー状の物質（ムチン）を検出します。
- ゼリー状ムチンは症状の進行によって以下に変化します。  
無構造型→星型→放射型→キウイフルーツ型
- 胆嚢壁の連続性の消失

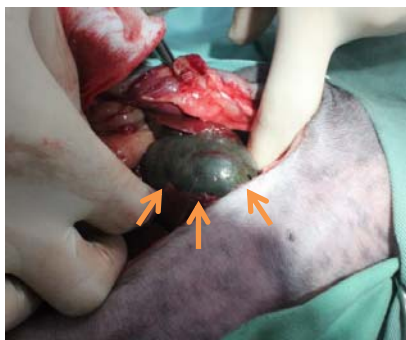
### 血液検査

- 各種肝酵素の異常
  - ALP・GGT(胆管系酵素)上昇
  - ALT・AST(肝酵素)上昇
  - 総胆汁酸(ビリルビン)値の上昇
- 白血球・CRP値の上昇
- 併発疾患(副腎皮質機能亢進症、甲状腺機能低下症)の有無

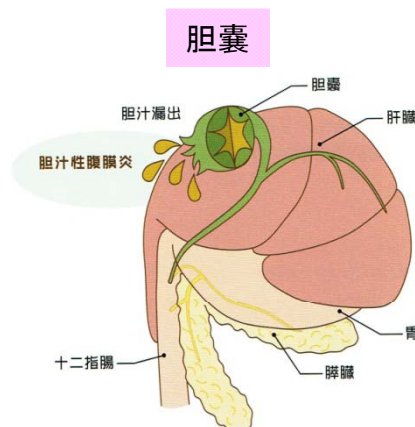
## どうやって治療するの？

□ 内科的治療：ウルソデオキシコール酸の投与、低脂肪食の投与経過観察では胆嚢破裂や胆管閉塞での急変の恐れがあるため、多くの場合外科的治療が必要となります。

□ 外科的治療：胆嚢摘出手術および総胆管洗浄(ステント留置)但し、手術はリスクも伴います。文献により21.7%~31.8%の周術期の死亡が報告されています。



手術中の所見。胆嚢は硬化して弾力性が無くなり、周辺臓器に炎症を起こしています。



Interzoo SA Medicine 86より引用

